

平成26年度知的財産権研修[産学官連携]実施報告

平成27年3月

平成26年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では知的財産権研修[産学官連携]を1回実施いたしました。
 本研修は中小・ベンチャー企業の人材、産学官連携に関する施策立案を担当する地方自治体職員や政府関係機関職員、公的研究機関や公益法人等で産学官連携を担当する実務者が、地域における産学官連携のあり方や、産学官連携に参加する各プレイヤーの現状、知財の取扱い等を習得することにより、知財マネジメント力を高め、地域における産学官連携をより円滑化・活性化することを目的としています。

1. 研修の概要		
(1) 日程	2月18日～20日 (3日間)	
(2) 開催地	東京都	
(3) 申込人数	32名	
(4) 参加人数	27名	
(5) 講師	8名	
2. アンケート結果		
(1) 研修全体として	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	8名	47%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	9名	53%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%
・無回答	8名	—
(2) 主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の背景や動向についてのご説明が大変参考になりました。テキストも大変参考になります。 ・契約という難しいと思われるテーマでしたが、自身の豊富な実践例をおり交せてご説明いただいたので理解が深まりました。 ・知らずにいた制度であり、大変勉強になりました。今後、この制度の活用を考えていきたいと思う。 ・具体的に活用できそうな事案があり興味深かった。この派遣事業はもっとPRする必要がある。組織内にも伝達したい。 ・企業側の知財活動がどのように行われているか知ることができました。大変参考になりました。 ・企業側の知財管理の仕組みや産学官の考え方について、実際に説明してもらおうという貴重な機会となりました。企業側から産学官連携において学べ、官に求めていることの理解も深められたと思います。 ・ビジネスモデルの構築について、実例を交えて説明いただき分かりやすい講義であった。また、先生個人の考え方も非常に興味深いものだった。 ・具体的な事例で知財活用の参考になる。 ・国内と海外とで知財に対する考え方が大きく異なることが分かり勉強になった。 ・現在の国際権利化状況を分野別に説明いただき理解しやすい講義でした。 ・標準化の重要性が理解できるとともに、企業にとっての知財戦略の方向性がわかりやすかった。 ・知財と標準化は相反するものだと思っていたが、いかに標準化を活かして企業の利益につなげていくことが海外展開において必要だと思った。 ・地域における知財のあり方について、よく学べ、ためになった。 ・産学官の具体例が聞けたので良かった。 ・研究不正と知財の扱い等、目からウロコの興味深い講義でした。 ・審査官の立場の話でオリジナルの内容が多くとても役に立つ。 ・課題の要点が理解しやすい。説明が内容と資料になっている。内容構成が良い。 	
(3) アンケート回収率	25名	93%